

平成 27 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号：4588)  
問合せ先 常 務 取 締 役 六反田 靖  
管 理 担 当  
(TEL. 03-5472-1578)

## 腫瘍溶解ウイルス **OBP-301** とチェックポイント阻害剤の

### 併用に関する共同研究開始のお知らせ

当社は、McMaster 大学（カナダ国オンタリオ州ハミルトン市）と共同研究を実施することを平成 27 年 9 月 17 日に決定しましたのでお知らせします。本契約に基づき、当社は McMaster 大学 Karen Mossman 教授の研究グループと、腫瘍溶解ウイルス OBP-301(テロメライシン)とチェックポイント阻害剤の併用に関する共同研究を開始します。

当社はがん免疫誘導に関する研究実績を多く持つ McMaster 大学と、テロメライシンを併用したがん免疫関連の非臨床試験を実施します。本共同研究は、テロメライシンとチェックポイント阻害剤を併用した場合の腫瘍抑制効果の検討、及び全身での腫瘍特異的な免疫細胞の増殖に関する検討を目的としています。

当社はテロメライシンの局所療法としての効果を期待し、従来食道がんや肝細胞がんなどにおける局所がん治療に関する臨床研究や臨床試験を進めてまいりました。今回の共同研究では、全身での腫瘍特異的な免疫細胞の増殖に関する検討を進めることで、当社はテロメライシンの治療領域を局所療法から全身療法へ広げる可能性を確認してまいります。

最近のがん治療薬は、チェックポイント阻害剤をはじめとするがん免疫療法や当社が開発中の腫瘍溶解ウイルスなど、新たなコンセプトに基づく抗がん剤の開発が進められています。また、がん治療における安全性の確保や有効性向上の観点から、単一の治療ではなく複数の治療を並行して用いる併用療法が中心になりつつあり、新規薬剤を他の治療法と組み合わせることで、新たな治療法を開発することが、がん治療の現場で求められています。

当社は新たなコンセプトに基づく抗がん剤である腫瘍溶解ウイルスのテロメライシンと他の治療法との併用療法を開発することで、がん治療現場の新しい治療法選択に貢献することを目指します。

なお、本件による本年度業績への影響はございません。

以 上